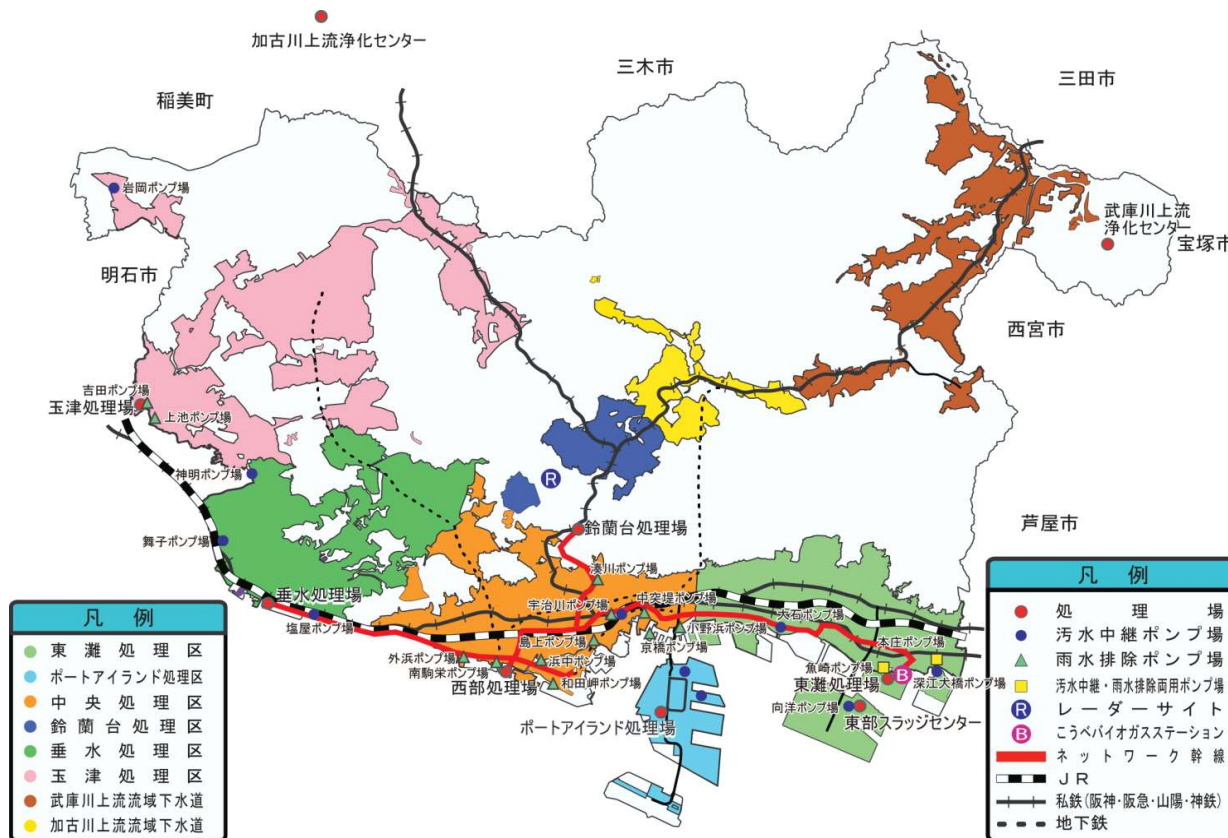


神戸市下水道事業の 経営状況について



神戸市建設局
下水道部

下水道事業の概要と役割



現況

- ・汚水管 約4100km
- ・雨水管 約 800km
- ・人口普及率 98.7%
- ・人口 約153万人

主な施設

- ・処理場 6ヶ所
- ・スラッジセンター 1ヶ所
- ・ポンプ場 25ヶ所

下水道の役割

1. ご家庭や事業所から排出される汚水を処理し、衛生的な生活環境を提供します。
2. 海や川の水質を改善します。
3. 大量の雨水を速やかに排除することで、まちを浸水被害から守ります。
4. 汚水の処理過程からでる資源を有効活用します。

下水道事業の収入

汚水(生活排水)

「下水道使用料」

雨水(浸水対策)

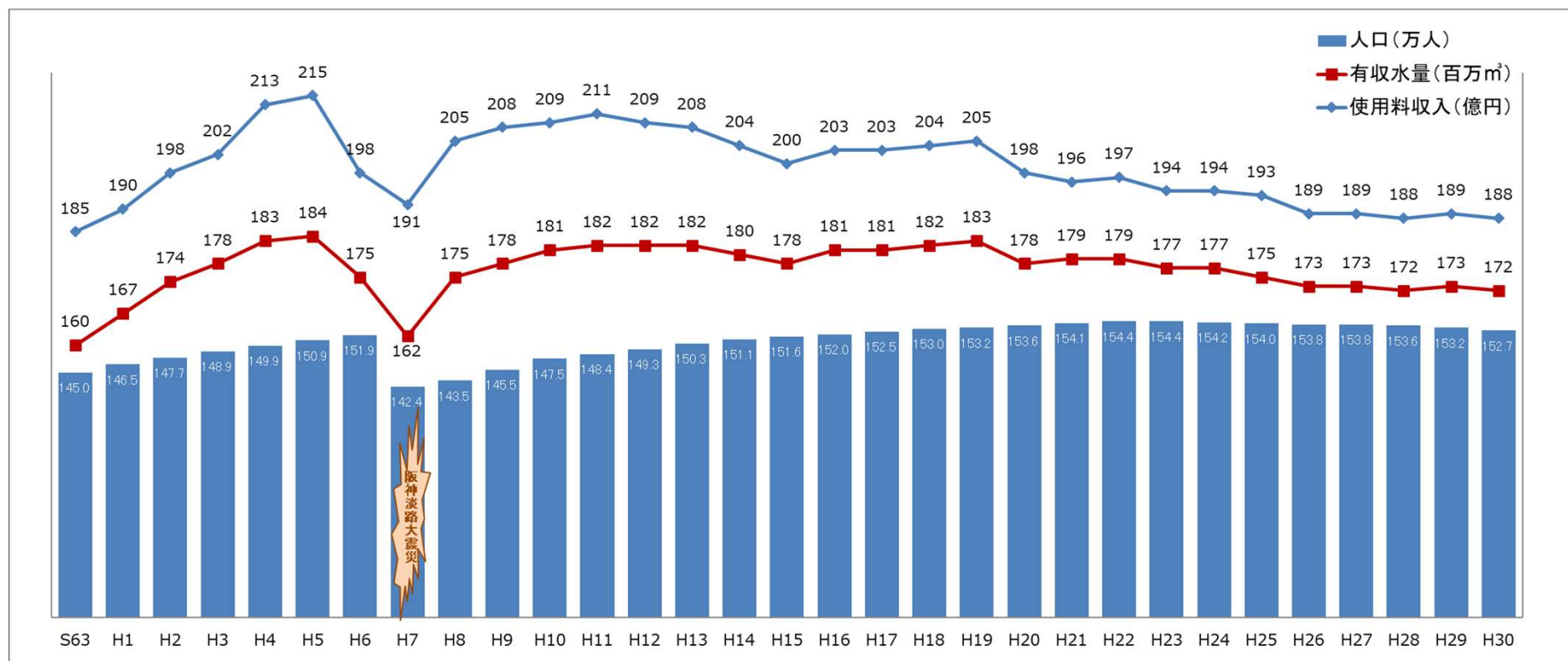
「市税」

市民や事業者のみなさんからいただく
「下水道使用料」は、約190億円/年間。



下水道事業の課題①

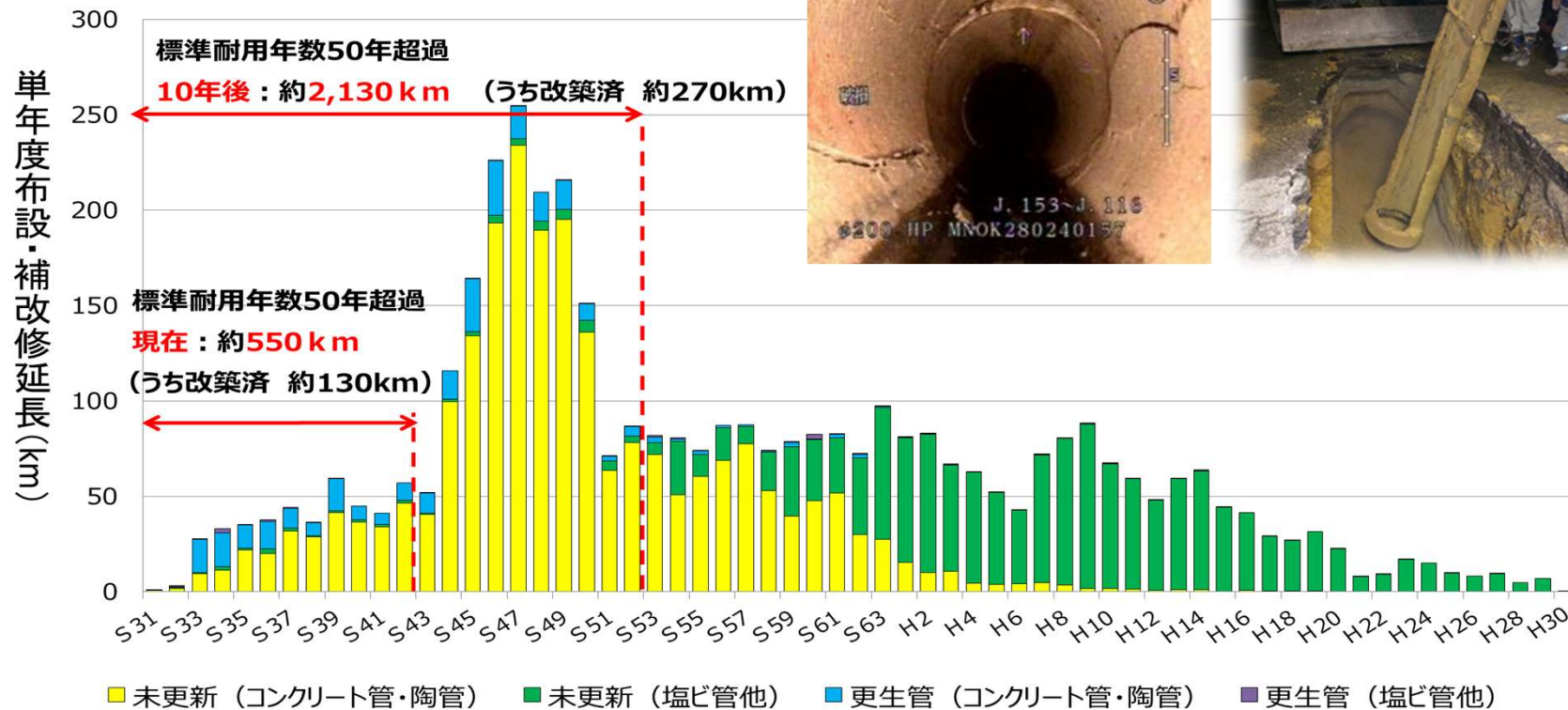
収入が減少しています



- 人口の減少や節水機器の普及により、下水道事業の収入の基礎となる有収水量は、中長期的には減少傾向にあります。それに伴い、使用料収入も減少が見込まれています。

下水道事業の課題②

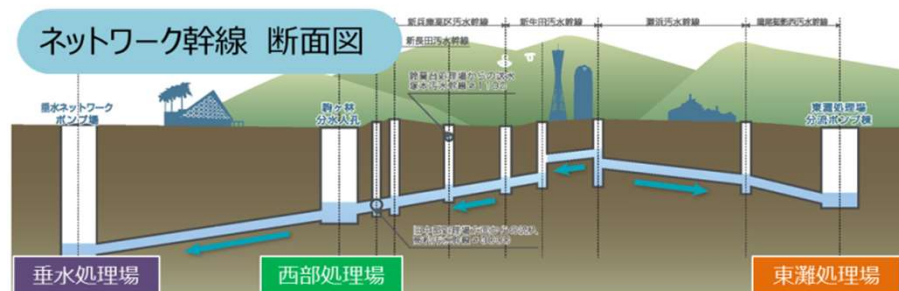
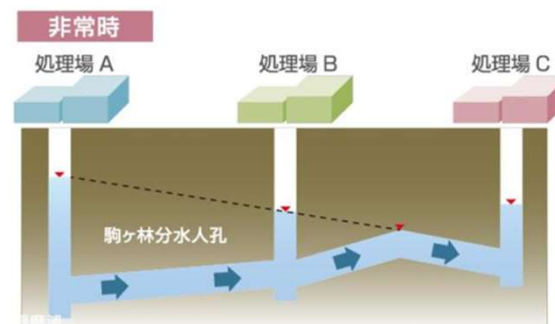
施設が老朽化しています



- 高度成長期に集中的に整備した下水道施設が耐用年数の50年を経過することから、計画的な老朽施設の修繕や改築が必要です。
- 管きよを含め、下水道施設の改築更新には、年間約200億円から220億円の費用が必要です。
- 老朽化した管きよを放置すると、道路陥没が発生するなどの危険があります。

下水道事業の課題③

災害への備えが必要です



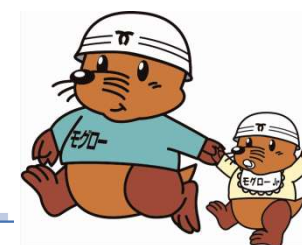
ある処理場で処理機能を失った場合、ネットワーク幹線を通じて、他の処理場へ汚水を送り、処理を行うことができます。

- 阪神・淡路大震災以降、「災害に強い下水道システムの構築」を目指し、市内5処理場を結ぶネットワーク幹線が完成しています。その結果、ある処理場が災害によって処理機能を失ってもネットワーク幹線を通じて処理場間での汚水の融通が可能となりました。
- 南海トラフ地震など、大規模な地震・津波の発生が予測される中、施設の耐震化や耐水化をはかることで、災害に備えなければなりません。

経営改善の主な取り組み(これまでの取り組み)

- 処理場の統廃合 (最大14 ⇒ 6)
- 職員数削減
(438人[平成16] ⇒ 333人[平成30])
- 民間活力の導入
処理場や汚泥焼却施設の運転管理業務など
- 組織・施設の統廃合
最大6の水環境センター ⇒ 3水環境センター化

これらの取り組みにより、**下水道使用料を昭和61年から34年間値上げをせず維持してきました。**



下水道事業の経営状況について

下水道事業の経営状況は年々厳しさを増しています…

主な理由として、使用料収入の減少、老朽化施設の改築更新に伴う費用の増加、災害への備えの3つの要因が挙げられます。



安心・安全な下水道サービスを安定的に提供するために…

令和2年4月より**下水道使用料を改定**いたしました。



下水道使用料改定の概要

1. **基本水量**(基本使用料のみで使用できる水量)が変わります。
これまでの月10m³から月5m³に改定。
2. **基本使用料**(使用されなくても最低限お支払いいただく使用料)が変わります。
これまでの月額470円(税抜き)から月額500円(税抜き)に改定。
3. **従量使用料**(使用水量に従ってお支払いいただく使用料)の単価が変わります。
6m³から10m³の単価20円(税抜き)を新設し、その他のランクは、1m³当たりの単価を一律2%増に改定。



今回の改定により、今後**10年間辛うじて収支均衡と経費回収率100%**(10年間平均100.33%)が図れる見込みです。

※経費回収率: 汚水処理経費を下水道使用料で、どの程度賄えているかを示す指数で、国からは100%以上であることを求められている。

改定後の下水道使用料について

一体どれくらい上がるの？

1か月あたり(税抜き)

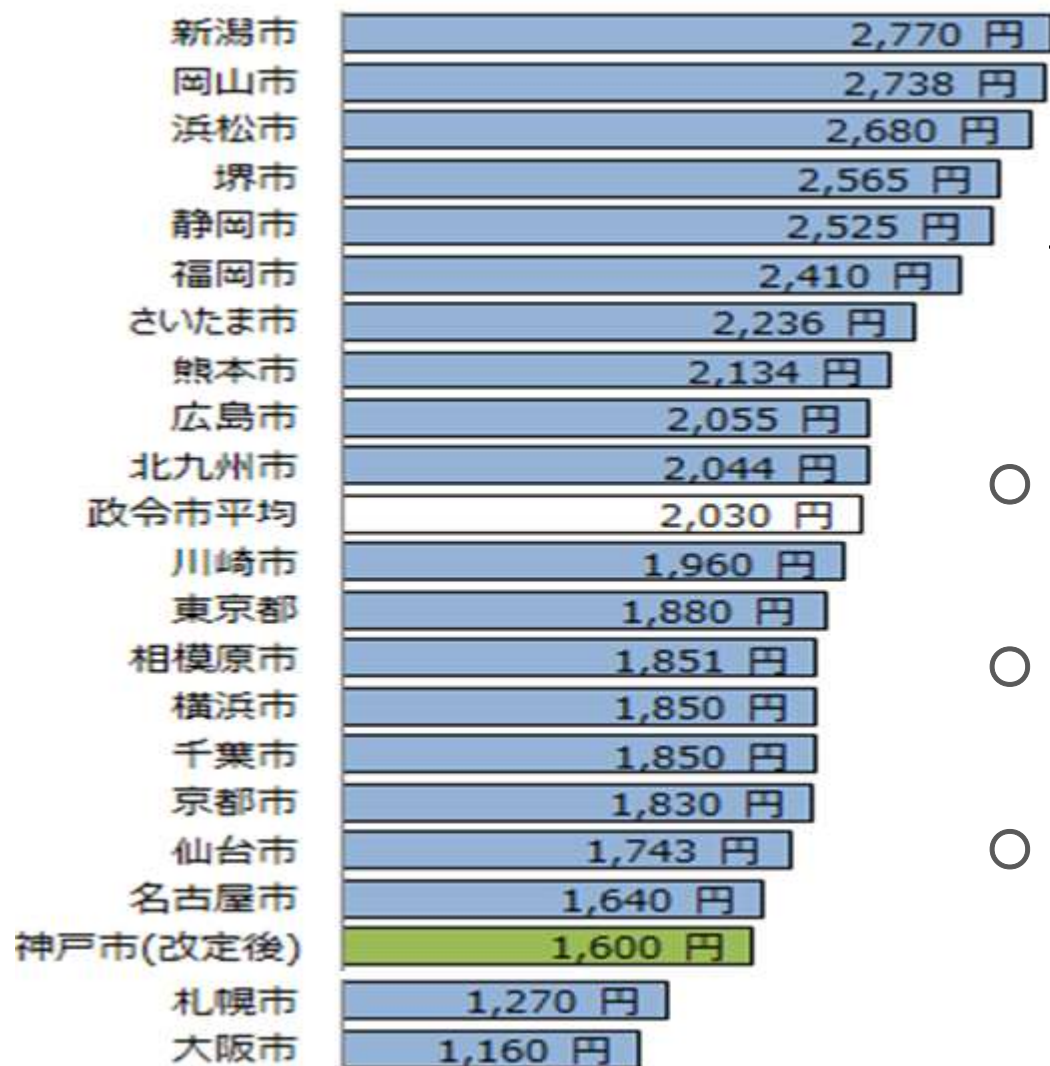
使用者の例	平均使用水量 (H28 東京都調査)	神戸市		明石市	西宮市	芦屋市
		現行	改定案			
1人暮らしの方の例	8 m ³	470 円	560 円	828 円	706 円	530 円
2人暮らしの方の例	16 m ³	1,058 円	1,200 円	1,538	1,260	1,022
3人暮らしの方の例	20 m ³	1,450 円	1,600 円	1,998	1,616	1,350
4人暮らしの方の例	24 m ³	1,842 円	2,000 円	2,574	1,972	1,790

- 現在の使用料と新しい使用料の比較です。
平成28年に東京都が調査した世帯の人数に応じた平均的な使用水量に当てはめたものです。
- お一人暮らしの方で、月額90円、お二人暮らしの場合142円、4人暮らしの場合で152円の改定となっています。
一般的なご家庭で、毎月ペットボトル1本分程度の値上げとなります。



他政令市の下水道使用料について

神戸市の下水道使用料は高いの？安いの？



1ヶ月20m³ご使用の場合(税抜き)
※3名様世帯相当

- 大都市と呼ばれる都市の中で、神戸市は、現在、3番目に安い使用料となっています。
- 改定後の使用料も金額は上がりますが、順位はそのまま3番目に安い金額となっています。
- 政令市平均の**2030円**に比べると改定後の使用料でも**430円**安くなっています。